

〈解答〉

① 1 (1) A [例] 聞いたり、見たり、感じたり (13字)

B [例] 自分の意見を情報として出力する (15字)

(2) 話者交代

2
エ

配点 ① 1 (2)、2は各3点、他は各2点 10点満点

〈解説〉

①

1 5～7行目「運動系学習の回路は、話す、書くなど実際に身体を動かして情報を出力するところです。感覚系学習の回路は、聞く、見る、感じるなどの情報の入力をするところです」という二文が、それぞれの回路の特徴を端的に表している。また、他者とコミュニケーションを取るために10、11行目「運動系回路を通して相手に自分の意見を話す、という情報出力」が必要となることをふまえて解答する。さらに、19～22行目「他者とのコミュニケーションにおいては、運動系と感覚系を同時に働かせてバランスを取る必要がある」、「言い換えれば」、会話には「ターンテイキング(話者交代)」がとても大事だ」とある。

2 文章の後半で「互いが同じだけ喋るといふ『話者交代』がなされているかが会話では重要である」と筆者は述べている。「人間関係におけるコミュニケーションの重要性」について述べているわけではない。アは四段落の内容、イは一段落から三段落の内容、ウは五段落から七段落の内容を指している。